

成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

第12回 JR成田駅のメッセージボード

～感謝とお祝いの気持ちに乗せて～

3月の卒業シーズンにJR成田駅改札の正面に登場するのが、駅員さんお手製のメッセージボード。今回は、卒業を迎える皆さんに向けたメッセージボードの舞台裏を紹介します。

このメッセージボードが設置され始めたのは平成28年頃。当時の駅員さんの発案で「いつも駅を利用してもらっていることへの感謝を伝えたい」「多くの人に見てもらえるように目立たせて駅全体でお祝いしたい」という思いから始まりました。その後、担当者が替わりながら引き継がれてきて、今年のメイン担当は入社1年目の2人。文章と飾り付けを分担し、改札口でのお客さん対応やホームでの安全確認など、駅の運営に関わる幅広い業務をこなす中、合間を縫って少しずつ準備を進めてきました。また、完成までにはこの2人の力だけではなく、昨年担当していた先輩からのアドバイスや、制作途中の様子を見た同僚からのアイデアなど、JR成田駅の駅員さん全員の思いが生かされています。

構想から完成まで、およそ3週間をかけて制作されたメッセージボード。このメッセージボードには、晴れの日も雨の日も通学する皆さんを見守ってきた駅員さんたちの温かい気持ちが詰まっていました。



①



②

舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式
YouTubeチャンネル

①2人で相談しながら細部を調整
②駅構内に掲出されたメッセージボード

構内で最大限のお祝いを

駅係員 ^{きみづか} 君塚 さくら さん

コロナ禍という大変な時期を経て卒業を迎える皆さんに、できる限りのお祝いをしたいという思いをメッセージにしました。長い間利用してもらった感謝の気持ちも一緒に、一文字ずつ丁寧に心を込めて書きました。



利用する皆さんを明るい気持ちに

駅係員 ^{ふくだ ゆき} 福田 由紀 さん

メッセージ文にある「出発進行!!」という前向きなフレーズに合うように、先につながるイメージも込めてレールを描き入れました。また、少しでも明るい気持ちになってもらえるように華やかなデザインを意識しました。



編集後記

先日、サークル活動を取材で訪ねた時のこと。集合写真の撮影時だけマスクを外してもらったら「メンバーの顔を初めて見た」という声が上がりました。学校や職場などでも、コロナ禍に出会った人たちの間だと珍しい話ではないのかもしれませんが。そんな中、いよいよマスク着用は個人の判断が基本に。うれしそうなお顔や真剣なお顔といった、豊かな表情を写真に撮れるかと思うと取材に対する期待も高まります。皆さんのすてきな表情にお会いできることを楽しみにしていますね。

令和5年3月15日号 No.1479

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは機読センサーウェブの登録商標です



*本紙は3月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。